

貸借対照表

(2024年3月31日 現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	260,039	流動負債	61,164
現金及び預金	37,481	買掛金	6,398
売掛金	122,088	未払金	26,946
商品	2,005	未払費用	8,790
仕掛品	319	預り金	3,085
前払費用	3,051	未払法人税等	9,765
預け金	95,000	未払消費税	6,178
その他	90		
固定資産	20,476	固定負債	4,881
(有形固定資産)	4,749	退職給付引当金	4,881
建物附属設備	249		
器具備品	4,499	負債合計	66,045
(無形固定資産)	10,205	(純資産の部)	
ソフトウェア	9,916	株主資本	214,469
その他	288	資本金	32,000
(投資その他の資産)	5,521	利益剰余金	182,469
繰延税金資産	5,169	利益準備金	8,000
会員権等	870	その他利益剰余金	174,469
貸倒引当金	△ 570	繰越利益剰余金	174,469
その他	52	純資産合計	214,469
資産合計	280,515	負債・純資産合計	280,515

(注) 当期純利益 32,000千円

(金額表示は、千円未満の端数は切り捨てて表示しております。)

個別注記表

重要な会計方針

1. 資産の評価基準及び評価方法
 - (1) 商品 総平均法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）
 - (2) 仕掛品 個別法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）

2. 固定資産の減価償却の方法
 - (1) 有形固定資産(リース資産を除く)

定率法

なお、耐用年数及び残存価額については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。
 - (2) 無形固定資産(リース資産を除く)

ソフトウェア (自社利用)

社内における利用可能期間(5年)による定額法により償却を行っております。

ソフトウェア (販売用)

見込販売収益に基づく償却額と残存有効期間に基づく均等配分額のいずれか大きい額を計上する方法により償却を行っております。

3. 引当金の計上基準
 - (1) 貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。
 - (2) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額（簡便法）に基づき計上しております。

4. 収益及び費用の計上基準

受注制作ソフトウェアに係る収益及び費用の計上基準

 - (1) 当事業年度末までの進捗部分について成果の確実性が認められるもの

工事進行基準（進捗率の見積りは原価比例法）
 - (2) その他のもの

工事完成基準

5. 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

株主資本等変動計算書に関する注記

1. 当事業年度末における発行済株式の数

普通株式	54,000 株
------	----------

2. 剰余金の配当に関する事項
 - (1) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2024年6月20日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	108,000	2,000.00	2024年3月31日	2024年6月24日